



発行所 社  
三野新聞社  
中津川市本町4丁目4番6号  
郵便番号 508-0041  
電話 (0573) 65-2715  
FAX (0573) 65-2715  
郵便振替口座 名古屋2-32227

### 千の音色でつなぐ絆プロジェクト

## 被災木で作ったヴァイオリン演奏

### 美しい音色で聴衆を魅了

被災木から作ったヴァイオリンを1千人が弾き継ぐ「千の音色でつなぐ絆」プロジェクトの東日本大震災復興チャリティー講演&ヴァイオリンコンサートが21日、中津川市茄子川の東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホールで開催され、美しい音色で満員の聴衆を魅了した。

このプロジェクトは、東日本大震災の被災者支援のために、ヴァイオリンドクターの中澤宗幸さんが、奇跡の一本松など被災地で生まれ育った木材でヴァイオリンを製作。中澤さんの思いに賛同する仲間たちがこのプロジェクトを実施するための組織「命をつなぐ木魂(こだま)の会」を作り、その楽器の演奏を通して被災者を励まし、亡くなられた人たちに鎮魂の祈りを捧げ、この震災でおきたことを風化させずに世代を超えて語りつごうと全国各地で開催している。

中津川市駒場の加藤製作所などKATOグループ(加藤景司社長)が創業125周年記念事業として感謝と復興支援のささやかな力になりたいと企画した。第1部では、命をつなぐ木魂の会の又川俊三会長が「人生二度なし、災い転じて福となす」と題し講演。世界中からあった被災地への支援や、自らの家族も行方不明の小学6年生の女の子が描いた励ましのポスター「スマイル」などを紹介し「ボランティアも大事だが、何よりも大事な

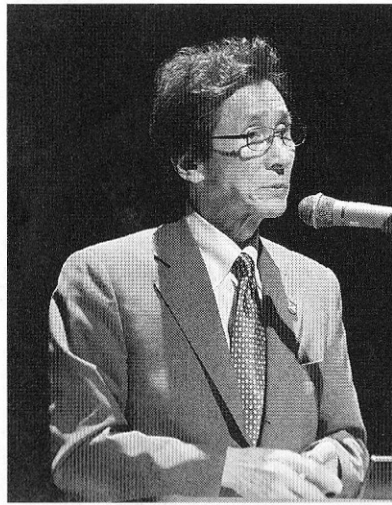
は自分のことを一生懸命にやること。子どもたちは両親の言うことをしっかりと聞いてください。大人は自分の会社のことをしっかりとやること。まず自分の与えられた任務を頑張ることが東北の復興、日本の未来につながります」と話し「今日聴いていたくヴァイオリンには亡くなった2万人の人たちの魂、心が入っています。素晴らしい音色を聴いてください」と語りかけた。写真上。

第2部のコンサートは、中津川少年少女合唱団の合唱で開演。国際コンクールで優勝など多くの受賞歴を



写真下。

持つヴァイオリンストリート世代合唱団と「ふるさと」「花はさや香さんの演奏でエルガ咲く」(NHK復興支援ソング)「愛の挨拶」映画「ニユグ」の2曲で共演し、会場アンコールを含め11曲を披露。最後に中津川少年少女



紹介し「ボランティアも大事だが、何よりも大事な